

令和6年度 第3回 学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年11月25日（月） 14時～16時まで
- 2 開催場所 清竜中学校 多目的室
- 3 出席委員 田村和史、藤井信男、西田躬穂、内藤留美子、阿蔵直子、森下伸弘、
出野光雄、鈴木省吾、濱田佳代子
- 4 欠席委員 なし
- 5 学校支援コーディネーター 野口めぐみ（14時34分より出席）
- 6 学 校 袴田 稔（校長）、嶋田喜守（教頭）、中村栄里（CS担当）、
渡邊理保（CSディレクター）
- 7 教育委員会 教育総務課 井島健蔵
- 8 傍 聴 者 なし
- 9 協議事項
 - （1）議長の選出
 - （2）前回会議録確認
 - （3）指定教育研究発表会の振り返りと全国学力学習状況調査・生徒質問紙の結果を受けた今後の取組について
- 10 会議録作成者 CSディレクター 渡邊理保
- 11 会議記録
 - ・司会の 嶋田喜守 教頭から、委員総数10名のうち9名の出席があり、過半数を超えているため会議が成立している旨の報告があった。
 - 学校支援コーディネーター 野口めぐみ委員は14時34分より出席。
 - （1）議長の選出
 - ・司会から議長の選出について委員に意見を求めたところ、藤井信男委員を推挙する旨の発言があり、協議の結果全員異議なくこれを承認した。
 - （2）前回会議録確認
 - ・議長の指示により、嶋田喜守 教頭から資料に基づき説明があった。
 - （3）指定教育研究発表会の振り返りと全国学力学習状況調査・生徒質問紙の結果を受けた今後の取組について
 - ・議長の指示により、嶋田喜守 教頭から資料に基づき説明があり、2グループに分かれてグループ協議を行った。グループ協議内では以下の発言があった。

第1グループ(藤井委員・野口CD・鈴木委員・出野委員・濱田委員)

○公開授業を参観して体育の授業感が変わった。タブレットを使用することで自分のプレーを客観的に見たり友達と比べることが出来るので、技術の向上に繋がると思った。

○体育の授業は身体も動かしたいので、時間配分が難しいと感じた。

○数学の授業は図形が動いていたので、その動く図形で授業を受けたかった。

○情報化社会の中で様々な情報を正しく選択していくにはどのようにしたらよいか課題があると思う。

○子どもたちの考えをみんなで共有できることは良いことだと思う。その反面、意見が異なった生徒が嫌な思いをすることはしないのか。そうならない為にはどのようにしたらいいのか。

第2グループ(田村委員・西田委員・内藤委員・阿蔵委員・森下委員)

○ICTの活用によって子供たちが授業に意欲的に取り組んでいるように感じた。

○情報の共有が素早くできていると感じた。

○タブレットを使っていると文字を書く機会が少なくなってしまうのではないかな。ノートの活用法も課題であると感じた。

○ICTを活用することによって教員の負担もあるのではないかな。

○情報の扱い方・共有の仕方は来年度も引き続き課題であると感じた。

(4) 令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果

議長の指示により、中村栄里 教務主任から資料に基づき説明があった。その中でも、家庭学習について課題が出されたため、グループで協議を行い、課題を解決するための方策が出された。

○家庭学習の形が変化しているので、個別にどれくらい行うのか、どのようなやり方があるのかを伝えていく必要がある。

○休日の家庭学習についても、ICTを活用して簡単な復習用の動画を視聴できるようにしたりデジタルドリルを有効活用したりして少しずつ休日でも学習する習慣を作っていくことも大切ではないか。

○学び方の理解できていない生徒に、家庭学習のやり方を示し、自分のできる量を設定しながら取り組むようにしていくことが必要。

○理論立てて書いたり話したりすることが苦手な生徒が多いため、そのような課題も行う時間を確保して取り組むことも必要ではないか。

12 その他連絡事項等

・司会から、来年度の学校運営協議会委員について・第4回学校運営協議会の開催日程の報告があった。

次回開催は令和7年2月20日(木) 14:00～

熟議の内容について

(1) 清竜中学校教育課程学校関係者評価について

(2) 令和7年度清竜中学校運営方針について

(3) 学校運営協議会の自己評価について

(4) 夢育やらまいか事業報告